

注3

大学番号：私003

[平成28年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

※公立千歳科学技術大学 理工学部 情報システム工学科

注2

※4月1日より公立大学法人化（旧 学校法人 千歳科学技術大学）

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 公立千歳科学技術大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 キカクソウムカキカクカカリチョウ ヨシダ シンゴ
企画総務課企画係長 吉田 慎吾

電話番号 0123-27-6001

（夜間） 同上

F A X 0123-27-6076

e-mail kikakusoumu@photon.chitose.ac.

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について
(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学部

＜情報システム工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26
8. 添付資料	「公立千歳科学技術大学FD委員会要綱」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人公立千歳科学技術大学

(2) 大学名

公立千歳科学技術大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒066-8655

北海道千歳市美々758番地65

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イザワ タツオ) 伊澤 達夫 (平成25年11月)	(カワセ マサアキ) 川瀬 正明 (平成31年4月)	公立大学法人化による変更 平成31年4月(元)
学長	(カワセ マサアキ) 川瀬 正明 (平成22年4月)		
学部長	(カワベ ユタカ) 川辺 豊 (平成25年11月)	(ヤマナカ アキオ) 山中 明生 (平成28年4月)	任期満了による変更(28)
応用化学生物 学科長	(オラフ カートハウス) Olaf Karthaus (平成22年4月)		
電子光工 学科長	(ヤマナカ アキオ) 山中 明生 (平成24年4月)	(フクダ マコト) 福田 誠 (平成28年4月)	平成28年4月就任(28)
情報システム工 学科長	(ヤマバヤシ ヨシアキ) 山林 由明 (平成24年4月)	(ソガ トシオキ) 曾我 聡起 (平成31年4月)	退任による変更 平成31年4月(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 情報システム工学科 学士（理工）	理学関係 工学関係	4年	80人	若干名 年次 人	320人	本学では1年次は学部で收容し、2年次に学科（3学科）に移行する。

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	80人	人	80人	人	80人	人	80人	人	0.97倍	倍	入学時は学部で募集を行い2年次進級時に学科（3学科）に移行するため左記の志願数・受験者数・合格者数・入学者数・編入学の状況は学部合計のもの。 入学定員超過率は入学者数を3学科で按分したものを調査対象学科の入学定員で除したものの。
志願者数	()	()	513	()	539	()	1196	()	2617	()			
受験者数	()	()	504	()	536	()	1165	()	2593	()			
合格者数	()	()	470	()	495	()	576	()	570	()			
B 入学者数	()	()	197	()	212	()	278	()	251	()			
入学定員超過率 B/A			0.82		0.88		1.16		1.05				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	66 [-] ()	[] ()	71 [-] ※ (1) ()	[] ()	93 [-] ()	[] ()	83 [-] ()	[] ()	<p>本学では第1年次は学部で収容し、2年次に学科に移行するため、入学者数は学部での入学者数を3学科で按分したものの。</p> <p>令和元年度2年次在学者に他の学科からの転学科した1名を含む。また、3年次在学者には編入学生1名を含む。</p> <p>※本学では学科の移行が2年次のため、()内は1年次留年者を3学科で按分したものの。</p>
2年次	/		[] ()	[] ()	80 [-] ()	[] ()	95 [-] ()	[] ()	96 [-] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	74 [-] ()	[] ()	94 [-] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	68 [-] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	66 [-] (-)	[] (-)	151 [-] ※ (1) ()	[] ()	262 [-] (-)	[] ()	341 [-] (-)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	66人	7人	平成27年度	一人	一人	
			平成28年度	7人	0人	修学意欲の低下、進路変更(就職)
平成29年度	151人	3人	平成27年度	一人	0人	
			平成28年度	2人	0人	修学意欲の低下、進路変更(就職)、経済的理由
			平成29年度	1人	0人	経済的理由
平成30年度	262人	7人	平成27年度	一人	0人	
			平成28年度	3人	0人	修学意欲の低下、進路変更(就職)、経済的理由 ※学費未納による除籍
			平成29年度	2人	0人	修学意欲の低下、進路変更(就職)、経済的理由
			平成30年度	2人	0人	修学意欲の低下、進路変更(就職)、経済的理由
令和元年度	341人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合計		17人		17人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{66} = \boxed{10.6} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{151} = \boxed{1.98} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{262} = \boxed{2.67} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{341} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学部 情報システム工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目（一般教育科目）	サイエンス基礎	1前	2								1
	テクノロジー基礎	1後	2								1
	物理学入門	1後	2								1
	化学入門	1前	2								1
	生物学入門	1前	2								1
	数学A	1前・後	3								1
	エレクトロニクス入門	1前	2								1
	情報学基礎演習	1前	2			1		1			2
	情報技術概論	1後	2			1			1		2
	理工学基礎実験	1後	2								1
	データサイエンス	1後	2				1				1
	数学B	1後	2								1
	エレクトロニクス基礎	1後	2								1
	インフォマティクス基礎	1後	2					1	1		2
	化学基礎	1後	2								1
	生物学基礎	2前	2								1
	力学	2前	2				1				1
	熱力学	2前	2				1				1
	人間情報科学	2前	2					1			1
	数学C	2前	2								1
	基礎フーリエ数学	2前	2								1
	宗教と科学技術	1・2後	2								1
	くらしと政治	1・2後	2								1
	人と社会	1・2後	2								1
	北海道の歴史	1・2後	2								1
	心理学入門	1・2後	2								1
	日本国憲法	1・2休	2								1
	哲学と世界	2・3前	2								1
	倫理と人間	2・3前	2								1
	心の科学	2・3前	2								1
	論理学入門	2・3前	2								1
	現代の社会経済	2・3前	2								1
	くらしと法律	2・3前	2								1
	初歩の物理学	1前	2								1
	数学基礎	1前	2								1
	キャリア形成A1	1前	2					1			1
	キャリア形成A2	1後	2					1			1
	キャリア形成B1	2前	2					1			1
	キャリア形成B2	2後	2					1			1
小計(39科目)	-	21	58	0	3	2	6	2	0	42	
共通教育科目（外国語科目・体育科目）	英語1A	1前	1			1	1			2	
	英語2A	1後	1			1	1			2	
	英語基礎1	1前	1			1				1	
	英語基礎2	1後	1			1				1	
	英語1B	1前	1			1				1	
	英語2B	1後	1			1				1	
	英語中級1A	2・3前	2			1				1	
	英語中級1B	2・3前	2			1				1	
	英語中級1C	2・3前	2				1			1	
	英語中級1D	2・3前	2				1			1	
	英語中級2A	2・3後	2			1				1	
	英語中級2B	2・3後	2				1			1	
	英語中級2C	2・3後	2				1			1	
	英語中級2D	2・3後	2				1			1	
	英語上級1A	3・4前	2					1		1	
	英語上級1B	3・4前	2				1			1	
	英語上級1C	3・4前	2					1		1	
	英語上級2A	3・4後	2				1			1	
	英語上級2B	3・4後	2					1		1	
	認定英語1	2						1	1	
	認定英語2	2						1	1	
	認定英語3	2						1	1	
	中国語1	2前	1							1	
	中国語2	2後	1							1	
	中国語3	3前	1							1	
	技術中国語1	3後	1							1	
	技術中国語2	4前	1							1	
	ドイツ語	2前	1							1	
	フランス語	2前	1							1	
	スポーツ総合1	1前	1							2	
	スポーツ総合2	1後	1							2	
	健康科学	1前	1							1	
小計(32科目)	-	2	49	0	0	6	6	0	0	36	
Cプログラミング	2前	2			1		1	1		3	
フーリエ基礎	2前	2			1					1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目（一般教育科目）	サイエンス基礎	1前	2								1
	テクノロジー基礎	1後	2								1
	物理学入門	1後	2								1
	化学入門	1前	2								1
	生物学入門	1前	2								7
	数学A	1前・後	3								1
	エレクトロニクス入門	1前	2								1
	情報学基礎演習	1前	2			1		1			2
	情報技術概論	1後	2			1			1		2
	理工学基礎実験	1後	2								1
	データサイエンス	1後	2				1	1			1
	数学B	1後	2								1
	エレクトロニクス基礎	1後	2								1
	インフォマティクス基礎	1後	2					1			1
	化学基礎	1後	2								1
	生物学基礎	2前	2								1
	力学	2前	2								1
	熱力学	2前	2								1
	人間情報科学	2前	2				1				1
	数学C	2前	2								1
	基礎フーリエ数学	2前	2					1			1
	宗教と科学技術	1・2後	2								1
	くらしと政治	1・2後	2								1
	人と社会	1・2後	2								1
	北海道の歴史	1・2後	2								1
	心理学入門	1・2後	2								1
	日本国憲法	1・2休	2								1
	哲学と世界	2・3前	2								1
	倫理と人間	2・3前	2								1
	心の科学	2・3前	2								1
	論理学入門	2・3前	2								1
	現代の社会経済	2・3前	2								1
	くらしと法律	2・3前	2								1
	初歩の物理学	1前	2								2
	数学基礎	1前	2								1
	キャリア形成A1	1前	1					1			1
	キャリア形成A2	1後	1					1			1
	キャリア形成B1	2前	1					1			1
	キャリア形成B2	2後	1					1			1
言語リテラシー1	1後	1						1		1	
千歳学	1前	1								1	
小計(41科目)	-	25	52	0	5	7	1	1	0	50	
共通教育科目（外国語科目・体育科目）	英語1A	1前	1			1	1			2	
	英語2A	1後	1			1	1			2	
	英語基礎1	1前	1			1				1	
	英語基礎2	1後	1			1				1	
	英語1B	1前	1			1				1	
	英語2B	1後	1			1				1	
	英語中級1A	2・3前	2			1				1	
	英語中級1B	2・3前	2			1				1	
	英語中級1C	2・3前	2				1			1	
	英語中級1D	2・3前	2				1			1	
	英語中級2A	2・3後	2			1				1	
	英語中級2B	2・3後	2				1			1	
	英語中級2C	2・3後	2				1			1	
	英語中級2D	2・3後	2				1			1	
	英語上級1A	3・4前	2					1		1	
	英語上級1B	3・4前	2					1		1	
	英語上級1C	3・4前	2					1		1	
	英語上級2A	3・4後	2					1		1	
	英語上級2B	3・4後	2					1		1	
	認定英語1	2						1	1	
	認定英語2	2						1	1	
	認定英語3	2						1	1	
	中国語1	2前	1							1	
	中国語2	2後	1							1	
	中国語3	3前	1							1	
	技術中国語1	3後	1							1	
	技術中国語2	4前	1							1	
	ドイツ語	2前	1							1	
	フランス語	2前	1							1	
	スポーツ総合1	1前	1							2	
	スポーツ総合2	1後	1							2	
	健康科学	1前	1							1	
小計(32科目)	-	2	49	0	0	8	6	0	0	36	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目 (専門必修科目)	Cプログラミング	2前	2			1		1	1		3		
	フリー基礎	2前	2			1		1			1		
	離散数学	2前	2				1				1		
	情報処理システム論	2前	2			1					1		
	統計学基礎	2後	2				1				1		
	Javaプログラミング	2後	2			1			1		2		
	情報通信システム概論	2後	2			1		1			2		
	電子回路	2後	2			1					1		
	電子回路実習	2後	1			1					2		
	情報処理プロジェクト	2後	2			1				2	3		
	アルゴリズムとプログラミング	2後	2			1					1		
	サービスク学	2後	2				1				1		
	システムデザインプロジェクト	3前	2			2		1			3		
	コンピュータネットワーク	3前	2			1		1			2		
	ソフトウェア工学概論	3前	2			1		1		2	3		
	情報システムセミナー	4前	2			4	1	1			6		
輪講	4前	1			4	1	1			6			
卒業研究A	4前	3			4	1	1			6			
卒業研究B	4後	3			4	1	1			6			
小計(19科目)	-	38	0	0	29	7	9	6	0	51			
専門教育科目 (専門選択科目)	コンピュータアーキテクチャ	2前	2							1			
	コンピュータと言語処理	2前	2							1			
	モバイルコンピューティング	2前	2						1		1		
	線形代数I	2前	2							1			
	情報セキュリティ	2後	2					1		2			
	オペレーティングシステム	2後	2					1		1			
	文章技法1	2後	2							2			
	代数学概論	2後	2							1			
	線形代数II	2後	2							1			
	フリー応用	2・3後	2							2			
	情報通信理論	3前	2			1				1			
	デジタル信号処理	3前	2							1			
	人工知能	3前	2			1				1			
	データベース工学	3前	2							1			
	webシステムプログラミング	3前	2							1			
	ユーザビリティ工学	3前	2				1				1		
	統計解析	3前	2				1				1		
	文章技法2	3前	2							2			
	代数学I	3前	2							1			
	経営学	3休	2							1			
	フotonクスシステム	3前	2			2				2			
	ハードウェアシステムプロジェクト	3後	2			3		1		4			
	ICTソリューションプロジェクト	3後	2			1		1	2	4			
	サービスプロジェクト	3後	2			2	1	1		4			
	情報通信ネットワーク工学	3後	2			1				1			
	センサネットワーク	3後	2			1				1			
	ソフトウェアデザイン	3後	2						1	1			
データマイニング	3後	2			1				1				
感性工学	3後	2				1			1				
教育とコンピュータ	3後	2			1				1				
ユーザインターフェース	3後	2			1				2				
サービスク学	3後	2			2	1			3				
企業リテラシ	3後	2			1				1				
人間コミュニケーション論	3後	2					1		1				
インターンシップ	3前	2					1		1				
幾何学概論	3後	2			1				1				
数値計算概論	3後	2							1				
情報と職業	3後	2					1		1				
複素関数と特殊関数	4前	2							1				
幾何学1	4前	2							1				
幾何学1演習	4前	1							1				
小計(41科目)	-	0	81	0	19	5	8	5	0	57			
合計(131科目)	-	61	188	0	51	20	29	13	0	186			
卒業要件及び履修方法													
4年以上在学し、①共通教育科目のうち、必修科目及び選択科目を併せて42単位以上、②専門教育科目のうち、必修科目及び選択科目を併せて77単位以上、③共通教育科目と専門教育科目を合わせて125単位以上を修める。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目 (専門必修科目)	Cプログラミング	2前	2			1		1			2		
	フリー基礎	2前	2			1		1			1		
	離散数学	2前	2				1				1		
	情報処理システム論	2前	2			1					1		
	統計学基礎	2後	2				1				1		
	Javaプログラミング	2後	2			1			1		2		
	情報通信システム概論	2後	2			1		1			2		
	電子回路	2後	2			1					1		
	電子回路実習	2後	1			1				2			
	情報処理プロジェクト	2後	2			1				1	2		
	アルゴリズムとプログラミング	2後	2			1					1		
	サービスク学	2後	2				1			1	1		
	システムデザインプロジェクト	3前	2			2		2	1		3		
	コンピュータネットワーク	3前	2			1		1		1	2		
	ソフトウェア工学概論	3前	2			1		1		1	3		
	情報システムセミナー	4前	2			4	1	1			6		
輪講	4前	1			4	1	1			6			
卒業研究A	4前	3			4	1	1			6			
卒業研究B	4後	3			4	1	1			6			
小計(19科目)	-	38	0	0	31	6	9	2	0	48			
専門教育科目 (専門選択科目)	コンピュータアーキテクチャ	2前	2							1			
	コンピュータと言語処理	2前	2							1			
	モバイルコンピューティング	2前	2							1			
	線形代数I	2前	2					1		1			
	情報セキュリティ	2後	2						1	1			
	オペレーティングシステム	2後	2						1	1			
	文章技法1	2後	2							2			
	代数学概論	2後	2						1	1			
	線形代数II	2後	2						1	1			
	フリー応用	2・3後	2							2			
	情報通信理論	3前	2			1				1			
	デジタル信号処理	3前	2							1			
	人工知能	3前	2			1				1			
	データベース工学	3前	2							1			
	webシステムプログラミング	3前	2							1			
	ユーザビリティ工学	3前	2				1				1		
	統計解析	3前	2				1				1		
	文章技法2	3前	2							2			
	代数学I	3前	2							1			
	経営学	3休	2							1			
	フotonクスシステム	3前	2			2			2	2			
	ハードウェアシステムプロジェクト	3後	2			3				1	4		
	ICTソリューションプロジェクト	3後	2			1			1	1	3		
	サービスプロジェクト	3後	2			2	1	1		1	4		
	情報通信ネットワーク工学	3後	2			1				1	1		
	センサネットワーク	3後	2			1				1	1		
	ソフトウェアデザイン	3後	2							1	1		
データマイニング	3後	2			1				1	1			
感性工学	3後	2					1		1	1			
教育とコンピュータ	3後	2			1				1	1			
ユーザインターフェース	3後	2			1				2	2			
サービスク学	3後	2			2	1			3	3			
企業リテラシ	3後	2			1				1	1			
人間コミュニケーション論	3後	2							1	1			
インターンシップ	3前	2							1	1			
幾何学概論	3後	2			1				1	1			
数値計算概論	3後	2							1	1			
情報と職業	3後	2						1	1	1			
複素関数と特殊関数	4前	2							1	1			
幾何学1	4前	2							1	1			
幾何学1演習	4前	1							1	1			
小計(41科目)	-	0	81	0	22	5	8	4	0	55			
合計(131科目)	-	61	188	0	57	20	29	7	0	187			
卒業要件及び履修方法													
4年以上在学し、①共通教育科目のうち、必修科目及び選択科目を併せて42単位以上、②専門教育科目のうち、必修科目及び選択科目を併せて77単位以上、③共通教育科目と専門教育科目を合わせて125単位以上を修める。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))													

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目（一般教育科目）	サイエンス基礎	1前	2									1
	テクノロジー基礎	1後	2									1
	物理学入門	1後	2									1
	化学入門	1前	2									1
	生物学入門	1前	2									7
	数学A	1前・後	3									1
	エレクトロニクス入門	1前	2									1
	情報学基礎演習	1前	2			1		1				2
	情報技術概論	1後	2			1						1
	理工学基礎実験	1後	2									1
	データサイエンス	1後	2				1					1
	数学B	1後	2									1
	エレクトロニクス基礎	1後	2									1
	インフォマティクス基礎	1後	2					1				1
	化学基礎	1後	2									1
	生物学基礎	2前	2									1
	力学	2前	2									1
	熱力学	2前	2									1
	人間情報科学	2前	2			1						1
	数学C	2前	2									1
	基礎フーリエ数学	2前	2			1						1
	宗教と科学技術	1・2後	2									1
	くらしと政治	1・2後	2									1
	人と社会	1・2後	2									1
	北海道の歴史	1・2後	2									1
	心理学入門	1・2後	2									1
	日本国憲法	1・2休	2									1
	哲学と世界	2・3前	2									1
	倫理と人間	2・3前	2									1
	心の科学	2・3前	2									1
	論理学入門	2・3前	2									1
	現代の社会経済	2・3前	2									1
	くらしと法律	2・3前	2									1
	初歩の物理学	1前	2									2
	数学基礎	1前	2									1
	キャリア形成A1	1前	1					1				2
キャリア形成A2	1後	1		1			1				1	
キャリア形成B1	2前	1		1			1				1	
キャリア形成B2	2後	1		1			1				1	
小計(39科目)	-	22	53	0	4	1	6	0	0	0	48	
共通教育科目（外国語科目・体育科目）	英語1A	1前	1			1	1					2
	英語2A	1後	1			1	1					2
	英語基礎1	1前	1		1		1					1
	英語基礎2	1後	1		1		1					1
	英語1B	1前	1		1		1					1
	英語2B	1後	1		1		1					1
	英語中級1A	2・3前	2			1						1
	英語中級1B	2・3前	2									1
	英語中級1C	2・3前	2				1					1
	英語中級1D	2・3前	2			1						1
	英語中級2A	2・3後	2			1						1
	英語中級2B	2・3後	2									1
	英語中級2C	2・3後	2				1					1
	英語中級2D	2・3後	2			1						1
	英語上級1A	3・4前	2									1
	英語上級1B	3・4前	2				1					1
	英語上級1C	3・4前	2									1
	英語上級2A	3・4後	2				1					1
	英語上級2B	3・4後	2									1
	認定英語1	1・2・3・4後	2									1
	認定英語2	1・2・3・4後	2									1
	認定英語3	1・2・3・4後	2									1
	中国語1	2前	2									1
中国語2	2後	1									1	
中国語3	3前	1									1	
技術中国語1	3後	1									1	
技術中国語2	4前	1									1	
ドイツ語	2後	2									1	
フランス語	2前	2									1	
スポーツ総合1	1前	1									2	
スポーツ総合2	1後	1									2	
健康科学	1前	1									1	
小計(32科目)	-	2	49	0	0	8	6	0	0	0	36	
専門教育科目（専門必修）	Cプログラミング	2前	2			1		1				1
	フーリエ基礎	2前	2			1						1
	離散数学	2前	2			1						1
	情報処理システム論	2前	2			1						1
	統計学基礎	2後	2				1					1
	Javaプログラミング	2後	2			1		1				2
	情報通信システム概論	2後	2			1		1				2
	電子回路	2後	2			1						1
	電子回路実習	2後	1			2						2
	情報処理プロジェクト	2後	2			1		1				2
	アルゴリズムとプログラミング	2後	2			1						1
	サービス科学	2後	2				1					1
	システムデザインプロジェクト	3前	2			5		1				6
コンピュータネットワーク	3前	2			1		1				2	
ソフトウェア工学概論	3前	2			1		2				3	

修科目 ()	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
	情報システムセミナー	4前	2			4	1	1				6
	輪講	4前	1			4	1	1				6
	卒業研究A	4前	3			4	1	1				6
	卒業研究B	4後	3			4	1	1				6
	小計(19科目)	-	38	0	0	34	6	12	0	0	0	52
専門教育科目 () 専門選択科目	コンピュータアーキテクチャ	2前		2								1
	コンピュータと言語処理	2前		2								1
	モバイルコンピューティング	2前		2				1				1
	線形代数 I	2前		2		1						1
	情報セキュリティ	2後		2								1
	オペレーティングシステム	2後		2				1				1
	文章技法1	2後		2								2
	代数学概論	2後		2		1						1
	線形代数 II	2後		2		1						1
	フリー応用	2・3後		2								1
	情報通信理論	3前		2		1						1
	デジタル信号処理	3前		2								1
	人工知能	3前		2		1						1
	データベース工学	3前		2				1		1		2
	webシステムプログラミング	3後		2				1				1
	ユーザビリティ工学	3前		2			1					1
	統計解析	3前		2			1					1
	文章技法2	3後		2								2
	代数学 I	3前		2		1						1
	経営学	3休		2								1
	フォトニクスシステム	3前		2		2						2
	ハードウェアシステムプロジェクト	3後		2		3						3
	ICTソリューションプロジェクト	3後		2		1		2				3
	サービスプロジェクト	3後		2		3	1	2				6
	情報通信ネットワーク工学	3後		2		1						1
	センサネットワーク	3後		2		1						1
	ソフトウェアデザイン	4前		2				1				1
	データマイニング	3後		2		1						1
	感性工学	3後		2			1					1
	教育とコンピュータ	3後		2		1						1
	ユーザインターフェース	3後		2		1						2
	サービス工学	3後		2		2	1					3
	企業リテラシー	3後		2								1
	人間コミュニケーション論	3後		2				1				1
	インターンシップ	3前		2				1				1
	幾何学概論	3前		2		1						1
	数値計算概論	3後		2								1
	情報と職業	3後		2				1				1
	複素関数と特殊関数	4前		2								1
	幾何学1	4前		2								1
	幾何学1演習	4前		1								1
小計(41科目)	-	0	81	0	23	5	12	0	1	0	57	
合計(131科目)	-	62	183	0	61	20	36	0	1	0	193	

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、①共通教育科目のうち、必修科目及び選択科目を併せて42単位以上、②専門教育科目のうち、必修科目及び選択科目を併せて77単位以上、③共通教育科目と専門教育科目を合わせて125単位以上を修める。
(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・「生物学入門」について、教育効果を考慮しムハズ形式に変更、それに伴い専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任7」に変更。
- ・「情報技術概論」について、担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことに伴い専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
- ・「初歩の物理学」について、教育効果を考慮し、担当者を変更のうえ専任教員等の配置を「兼任1」「兼任1」の2名に変更。
- ・「北海道の歴史」について、当初予定していた兼任教員が就任を辞退したため。別の兼任教員へ変更した。
- ・「Cプログラミング」について、担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことに伴い専任教員等の配置を「教授1」「講師1」「助教1」から「教授1」「講師1」へ変更。
- ・「Javaプログラミング」について担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことに伴い専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」へ変更。
- ・「情報処理プロジェクト」について、担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことに伴い専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「助教1」へ変更。
- ・「ソフトウェア工学概論」について、担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことに伴い専任教員等の配置を「教授1」「講師1」「助教2」から「教授1」「講師1」「助教1」へ変更。
- ・「ICTソリューションプロジェクト」について、担当予定教員（助教）1名が任期満了により退職したことに伴い専任教員等の配置を「教授1」「講師1」「助教2」から「教授1」「講師1」「助教1」へ変更。

【平成29年度】

- ・「化学入門」について、教育効果を考慮し、別の兼任教員へ変更。
- ・「インフォマティクス基礎」について、担当科目の見直しにより、ムハズから単独へ変更。授業内容に変更はなく、支障はない。それに伴いそれに伴い、専任教員等の配置を「講師1」「助教1」から「講師1」に変更。
- ・「化学基礎」について、教育効果を考慮し、別の兼任教員へ変更。
- ・「熱力学」について、当該教員の専門分野等の見直しにより、所属学科を変更したことによる「教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・「人間情報科学」について、教育効果を考慮し専任の教授へ担当者を変更。
- ・「基礎フーリエ数学」について、教育効果を考慮し専任の教授へ担当者を変更。
- ・「英語中級1D」について、兼任教員が就任を辞退したことにより、専任の准教授へ担当者を変更。
- ・「英語中級2D」について、兼任教員が就任を辞退したことにより、専任の准教授へ担当者を変更。
- ・「離散数学」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、当初担当を予定していた教授から別の専任教授1名へ担当者を変更。
- ・「情報処理システム論」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、当初担当を予定していた教授から別の教授1名へ担当者を変更。
- ・「電子回路実習」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、専任の教授1名を追加し、「教授1」から「教授2」に変更。
- ・「線形代数Ⅰ」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、専任の教授に担当者を変更し「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・「代数学概論」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、専任の教授に担当者を変更し「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・「線形代数Ⅱ」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、専任の教授に担当者を変更し「兼任1」から「教授1」に変更。

【平成30年度】

- ・「キャリア形成A1」について、キャリア形成の重要性に鑑み、また、授業形態の変更に伴い選択科目から必修科目へと変更し、単位数も2単位から1単位へと変更した。更に授業担当者に兼任の教授1名を追加し、専任教員等の配置を「講師1」から「講師1」「兼任1」の2名に変更。
- ・「キャリア形成A2」について、授業形態の変更に伴い単位数を2単位から1単位へと変更した。
- ・「キャリア形成B1」について、授業形態の変更に伴い単位数を2単位から1単位へと変更した。
- ・「キャリア形成B2」について、授業形態の変更に伴い単位数を2単位から1単位へと変更した。
- ・「ドイツ語」について、履修者への配慮から開講時期を「2前」から「2後」へ変更した。
- ・「Javaプログラミング」について、「教授1」から「教授1」「講師1」へ変更した。
- ・「情報処理プロジェクト」について、科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、「教授1」「助教1」から「教授1」「講師1」へ変更。
- ・「システムデザインプロジェクト」について、科目担当者の見直し及び教育効果を考慮し、専任の教授3名を追加して「教授2」「講師1」から「教授5」「講師1」へ変更。
- ・「ソフトウェア工学概論」について、配置されている助教の講師への昇格に伴い、「教授1」「講師1」「助教1」から「教授1」「講師2」へ変更。
- ・「モバイルコンピューティング」について、配置されている助教の講師への昇格に伴い、「助教1」から「講師1」へ変更。
- ・「情報セキュリティ」について、担当科目の見直しにより、「講師1」「兼任1」から「兼任1」へ変更。
- ・「データベース工学」について、兼任教員の就任辞退により「兼任1」から「講師1」「助手1」へ変更。
- ・「webシステムプログラミング」について、配置されている助教の講師への昇格に伴い、「助教1」から「講師1」へ変更。また、配当年次の見直しにより、「3前」から「3後」へ変更。
- ・「文章技法2」について、配当年次の見直しにより、「3前」から「3後」へ変更。
- ・「代数学Ⅰ」について、教育効果を考慮し、専任の教授へ担当者を変更し、専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」へ変更。
- ・「ハードウェアシステムプロジェクト」について、担当科目の見直しにより、専任教員等の配置を「教授3」「講師1」から「教授3」へ変更した。
- ・「ICTソリューションプロジェクト」について、配置されている助教の講師への昇格に伴い、「教授1」「講師1」「助教1」から「教授1」「講師2」へ変更。
- ・「サービスプロジェクト」について、担当科目の見直し及び教育効果を考慮し、「教授2」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授1」「講師2」へ変更。
- ・「ソフトウェアデザイン」について、配当年次の見直しにより「3後」から「4前」へ変更。また、配置されている助教の講師への昇格に伴い、「助教1」から「講師1」へ変更。
- ・「企業リテラシ」について、担当教員の所属学科の変更に伴い、「教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・「幾何学概論」について、配当年次の見直しにより、「3後」から「3前」に変更。

【令和元年度】

- ・「情報学基礎演習」の担当者「講師1」が、准教授に昇格したため「准教授1」と変更した。
- ・「インフォマティクス基礎」の担当者「講師1」が、准教授に昇格したため「准教授1」と変更した。
- ・「キャリア形成A2」をキャリア形成の重要性に鑑み選択から必修に変更した。
- ・「言語リテラシー1」（1単位）を日本語教育の重要性に鑑み、新規の必修科目として1年後期に開設し、専任講師1名を配置した。
- ・「千歳学」（1単位）を地域の理解を促すことを主な目的として、新規の必修科目として1年前期に開設し、兼任教授1名を配置した。
- ・「ユーズインターフェース」は教育効果を考慮し、3年後期から3年前期へ開講時期を変更した。
- ・「サービス工学」は、教育効果及び担当者を見直し「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授1」へと担当者を変更した。
- ・「幾何学Ⅰ演習」は、教育効果に配慮し、4年前期から4年後期へ開講時期を変更した。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	100 科目	0 科目	131 科目	35 科目 [4]	98 科目 [△2]	0 科目 [0]	133 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

該当なし

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{\#VALUE!} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	182,492㎡	0㎡	0㎡	182,492㎡			
	運動場用地	91,736㎡	0㎡	0㎡	91,736㎡			
	小 計	274,228㎡	0㎡	0㎡	274,228㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	274,228㎡	0㎡	0㎡	274,228㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		20,996㎡ (20,996㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	20,996㎡ (20,996㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	学科での算出が不可能のため学部合計		
	15室	0室	49室	5室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	理工学部 情報システム工学科			13 室				
(5)	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	理工学部	47,213 [13,862] (45,953 [14,363]) (44,119 [13,828]) (42,571 [13,277]) (42,413 [13,302])	255 [125] (287 [137]) (278 [126]) (252 [118]) (246 [118])	1,026 [592] (99 [95]) (663 [92]) (978 [549])	1,809 (1,829) (1,819) (1,800) (1,749)	12,087 (11,444) (11,960) (12,087) (12,056)	(289)	学科単位での算出が不能のため学部合計
		計	47,213 [13,862] (45,953 [14,363])	255 [125] (287 [137])	1,026 [592] (99 [95])	1,809 (1,829)		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	取 納 可 能 冊 数		学科での算出が不可能のため学部合計		
	718㎡		147席	50,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			学科での算出が不可能のため学部合計		
	1,422㎡		該 当 な し 該 当 な し					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学科での算出が不可能のため学部合計
		教員1人当り研究費等	550千円	550千円	図書購入費	15,586千円	9,927千円	
	共同研究費等	46,485千円	31,200千円	設備購入費	14,256千円	48,927千円	8,530千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		818千円	540千円	540千円	540千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		千歳市からの運営費交付金						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
理工学部										
応用化学生物学科	4	80	-	320	学士 (理工学)	0.96		平成20	北海道千歳市 美々758番地65	平成27年度 学科名称変更
電子光工学科	4	80	-	320	学士 (理工学)	0.98		平成20		平成27年度 学科名称変更
情報システム工学科	4	80	-	320	学士 (理工学)	0.98		平成28		平成28年度 開設 (届出)
グローバルシステムデザイン学科	4	80	-	-	学士 (理工学)	-		平成20		平成28年度 学生募集停止
光科学研究科 博士前期課程 光科学専攻	2	20	-	40	修士 (理工学)	0.62		平成14		
光科学研究科 博士前期課程 光科学専攻	3	3	-	9	博士 (理工学)	0.33		平成16		
大学 の 名 称										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜理工学部 情報システム工学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

Table with 5 columns representing the years 2016 (平成28年度), 2017 (平成29年度), 2018 (平成30年度), and 2019 (令和元年度). Each column contains a table of faculty members with their names, titles, and research interests.

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	小林 大二 (47) <平成28年4月> 博士(工学)	人間情報科学 統計学基礎 サービス科学 情報システムセミナー 卒業研究A 卒業研究B ユースリティ工学 統計解析 サービスプロジェクト 感性工学 サービス工学※	専任	准教授	小林 大二 (48) <平成28年4月> 博士(工学)	人間情報科学 統計学基礎 サービス科学 情報システムセミナー 卒業研究A 卒業研究B ユースリティ工学 統計解析 サービスプロジェクト 感性工学 サービス工学※	専任	准教授	小林 大二 (49) <平成28年4月> 博士(工学)	人間情報科学 統計学基礎 サービス科学 情報システムセミナー 卒業研究A 卒業研究B ユースリティ工学 統計解析 サービスプロジェクト 感性工学 サービス工学※
専任	講師	石田 雪也 (41) <平成28年4月> 博士(理工学)	情報学基礎演習※ O2777の基礎※ キャリア形成 A 1 キャリア形成 A 2 キャリア形成 B 1 キャリア形成 B 2 O2777 卒 027 027 027 インターンシップ ICT777-027 027 027 人間コミュニケーション論 情報と職業	専任	講師	石田 雪也 (42) <平成28年4月> 博士(理工学)	情報学基礎演習※ O2777の基礎※ キャリア形成 A 1 キャリア形成 A 2 キャリア形成 B 1 キャリア形成 B 2 O2777 卒 027 027 027 インターンシップ ICT777-027 027 027 人間コミュニケーション論 情報と職業	専任	講師	石田 雪也 (44) <平成28年4月> 博士(理工学)	情報学基礎演習※ O2777の基礎※ キャリア形成 A 1 キャリア形成 A 2 キャリア形成 B 1 キャリア形成 B 2 O2777 卒 027 027 027 インターンシップ ICT777-027 027 027 人間コミュニケーション論 情報と職業 サービスプロジェクト
専任	講師	Randy L Evans (54) <平成28年4月> 修士(文学)	英語 1 A 英語 2 A 英語中級 1 C 英語中級 2 C 英語上級 1 B 英語上級 2 A サービスプロジェクト	専任	講師	Randy L Evans (55) <平成28年4月> 修士(文学)	英語 1 A 英語 2 A 英語中級 1 C 英語中級 2 C 英語上級 1 B 英語上級 2 A サービスプロジェクト	専任	講師	Randy L Evans (57) <平成28年4月> 修士(文学)	英語 1 A 英語 2 A 英語中級 1 C 英語中級 2 C 英語上級 1 B 英語上級 2 A サービスプロジェクト
専任	講師	深町 賢一 (47) <平成28年4月> 博士(理学)	プログラミング 情報システム概論※ O2777-027-027※ ソフトウェア工学概論※ 情報システムセミナー 卒業研究A 卒業研究B 情報セキュリティ オペレーティングシステム O2777-027 027 027	専任	講師	深町 賢一 (48) <平成28年4月> 博士(理学)	プログラミング 情報システム概論※ O2777-027-027※ ソフトウェア工学概論※ 情報システムセミナー 卒業研究A 卒業研究B 情報セキュリティ オペレーティングシステム O2777-027 027 027	専任	講師	深町 賢一 (50) <平成28年4月> 博士(理学)	プログラミング 情報システム概論※ O2777-027-027※ ソフトウェア工学概論※ 情報システムセミナー 卒業研究A 卒業研究B 情報セキュリティ オペレーティングシステム O2777-027 027 027
専任	助教	林 康弘 (37) <平成28年4月> 博士(政策・メディア)	情報技術概論 プログラミング Javaプログラミング 情報処理プロジェクト ソフトウェア工学概論※ ICT777-027 027 027								
専任	助教	山川 広人 (35) <平成28年4月> 博士(理工学)	O2777の基礎※ 情報処理プロジェクト ソフトウェア工学概論※ E2777-027-027※ web2777 027 027 ICT777-027 027 027 ソフトウェアデザイン	専任	助教	山川 広人 (36) <平成28年4月> 博士(理工学)	O2777の基礎※ 情報処理プロジェクト ソフトウェア工学概論※ E2777-027-027※ web2777 027 027 ICT777-027 027 027 ソフトウェアデザイン	専任	講師	山川 広人 (38) <平成28年4月> 博士(理工学)	O2777の基礎※ 情報処理プロジェクト ソフトウェア工学概論※ E2777-027-027※ web2777 027 027 ICT777-027 027 027 ソフトウェアデザイン データベース Javaプログラミング
				兼任	教授	長谷川 誠 (54) <平成28年4月> 工学博士	熱力学 O2777-027 027 027 企業リテラシー O2777 027 027 027 フォトリソシステム	兼任	教授	長谷川 誠 (55) <平成28年4月> 工学博士	熱力学 O2777-027 027 027 企業リテラシー O2777 027 027 027 フォトリソシステム
				兼任	教授	王 建康 (61) <平成28年9月>	宗教と科学技術 中国語1 中国語2 中国語3	兼任	教授	王 建康 (62) <平成28年9月>	宗教と科学技術 中国語1 中国語2 中国語3
								兼任	講師	云 肖梅 (51) <平成31年4月> 博士(文学)	宗教と科学技術 中国語1 中国語2 中国語3
兼任	教授	小田 尚樹 (47) <平成28年4月> 博士(工学)	O2777-027-027	兼任	教授	小田 尚樹 (48) <平成28年4月> 博士(工学)	O2777-027-027	兼任	教授	小田 尚樹 (49) <平成28年4月> 博士(工学)	O2777-027-027
兼任	教授	Olaf Karthaus (55) <平成30年4月> 理学博士	英語上級 1 C 英語上級 2 B	兼任	教授	Olaf Karthaus (56) <平成30年4月> 理学博士	英語上級 1 C 英語上級 2 B	兼任	教授	Olaf Karthaus (57) <平成30年4月> 理学博士	英語上級 1 C 英語上級 2 B 生物学入門
兼任	教授	唐澤 直樹 (55) <平成28年9月> Ph. D	数学 B	兼任	教授	唐澤 直樹 (56) <平成28年9月> Ph. D	数学 B	兼任	教授	唐澤 直樹 (59) <平成28年9月> Ph. D	数学 B
兼任	教授	川瀬 正明 (68) <平成28年4月> 博士(工学)	サイエンス基礎	兼任	教授	川瀬 正明 (69) <平成28年4月> 博士(工学)	サイエンス基礎	兼任	教授	川瀬 正明 (70) <平成28年4月> 博士(工学)	サイエンス基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	川辺 豊 (57) <平成28年9月> 博士(工学)	テクノロジー基礎	兼任	教授	川辺 豊 (58) <平成28年9月> 博士(工学)	テクノロジー基礎	兼任	教授	川辺 豊 (60) <平成28年9月> 博士(工学)	テクノロジー基礎	兼任	教授	川辺 豊 (61) <平成28年9月> 博士(工学)	テクノロジー基礎
兼任	教授	谷尾 宣久 (64) <平成28年4月> 工学博士	化学入門 化学基礎	兼任	教授	谷尾 宣久 (56) <平成28年4月> 工学博士	化学入門 化学基礎	兼任	教授	谷尾 宣久 (57) <平成28年4月> 工学博士	化学入門 化学基礎	兼任	教授	谷尾 宣久 (58) <平成28年4月> 工学博士	化学入門 化学基礎
				兼任	准教授	高田 知哉 (44) <平成29年4月> 博士(工学)	生物学入門	兼任	准教授	高田 知哉 (45) <平成29年4月> 博士(工学)	生物学入門 化学入門 化学基礎	兼任	教授	高田 知哉 (47) <平成29年4月> 博士(工学)	生物学入門 化学入門 化学基礎
兼任	教授	福田 誠 (52) <平成28年4月> 博士(理学)	物理学入門 理工学基礎実験 力学 初歩の物理学	兼任	教授	福田 誠 (53) <平成28年4月> 博士(理学)	物理学入門 理工学基礎実験 力学 初歩の物理学	兼任	教授	福田 誠 (55) <平成28年4月> 博士(理学)	物理学入門 理工学基礎実験 力学 初歩の物理学	兼任	教授	福田 誠 (56) <平成28年4月> 博士(理学)	物理学入門 理工学基礎実験 力学 初歩の物理学
				兼任	准教授	梅村 信弘 (48) <平成28年4月> 博士(工学)	初歩の物理学	兼任	准教授	梅村 信弘 (49) <平成28年4月> 博士(工学)	初歩の物理学	兼任	准教授	梅村 信弘 (51) <平成28年4月> 博士(工学)	初歩の物理学
兼任	教授	安田 富久一 (63) <平成28年4月> 理学修士	数学A 数学C 離散数学 線形代数Ⅰ 代数学概論 線形代数Ⅱ 代数学Ⅰ 幾何学Ⅰ演習	兼任	教授	安田 富久一 (64) <平成28年4月> 理学修士	数学A 数学C 離散数学 線形代数Ⅰ 代数学概論 線形代数Ⅱ 代数学Ⅰ 幾何学Ⅰ演習	兼任	教授	安田 富久一 (65) <平成28年4月> 理学修士	数学A 数学C 離散数学 線形代数Ⅰ 代数学概論 線形代数Ⅱ 代数学Ⅰ 幾何学Ⅰ演習	兼任	教授	安田 富久一 (66) <平成28年4月> 理学修士	数学A 数学C 離散数学 線形代数Ⅰ 代数学概論 線形代数Ⅱ 代数学Ⅰ 幾何学Ⅰ演習
兼任	教授	山中 明生 (60) <平成28年4月> 理学博士	エレクトロニクス入門 エレクトロニクス基礎 基礎フーリエ数学 複素関数と特殊関数 フーリエ応用	兼任	教授	山中 明生 (61) <平成28年4月> 理学博士	エレクトロニクス入門 エレクトロニクス基礎 基礎フーリエ数学 複素関数と特殊関数 フーリエ応用	兼任	教授	山中 明生 (62) <平成28年4月> 理学博士	エレクトロニクス入門 エレクトロニクス基礎 基礎フーリエ数学 複素関数と特殊関数 フーリエ応用	兼任	教授	山中 明生 (63) <平成28年4月> 理学博士	エレクトロニクス入門 エレクトロニクス基礎 基礎フーリエ数学 複素関数と特殊関数 フーリエ応用
兼任	准教授	青木 広宙 (45) <平成30年4月> 博士(工学)	デジタル信号処理 数値計算概論	兼任	准教授	青木 広宙 (46) <平成30年4月> 博士(工学)	デジタル信号処理 数値計算概論	兼任	准教授	青木 広宙 (47) <平成30年4月> 博士(工学)	デジタル信号処理 数値計算概論	兼任	准教授	青木 広宙 (49) <平成30年4月> 博士(工学)	デジタル信号処理 数値計算概論
兼任	准教授	坂井 賢一 (46) <平成28年4月> 博士(学術)	生物学入門 生物学基礎	兼任	准教授	坂井 賢一 (47) <平成28年4月> 博士(学術)	生物学入門 生物学基礎	兼任	准教授	坂井 賢一 (48) <平成28年4月> 博士(学術)	生物学入門 生物学基礎	兼任	准教授	坂井 賢一 (50) <平成28年4月> 博士(学術)	生物学入門 生物学基礎
				兼任	教授	木村 廣美 (52) <平成28年4月> 博士(水産学)	生物学入門	兼任	教授	木村 廣美 (53) <平成28年4月> 博士(水産学)	生物学入門	兼任	教授	木村 廣美 (54) <平成28年4月> 博士(水産学)	生物学入門
				兼任	教授	大越 研人 (51) <平成28年4月> 博士(工学)	生物学入門	兼任	教授	大越 研人 (52) <平成28年4月> 博士(工学)	生物学入門	兼任	教授	大越 研人 (53) <平成28年4月> 博士(工学)	生物学入門
				兼任	教授	李 黎明 (62) <平成28年4月> 博士(工学)	生物学入門	兼任	教授	李 黎明 (63) <平成28年4月> 博士(工学)	生物学入門				
												兼任	教授	下村 政嗣 (64) <平成30年4月> 工学博士	生物学入門
												兼任	教授	下村 政嗣 (65) <平成30年4月> 工学博士	生物学入門
												兼任	講師	平井 悠司 (52) <平成28年4月> 博士(工学)	生物学入門
												兼任	講師	平井 悠司 (53) <平成28年4月> 博士(工学)	生物学入門
												兼任	教授	吉本 直人 (54) <平成30年4月> 博士(工学)	キャリア形成A1
兼任	講師	金井 彩香 (38) <平成28年4月> 博士(文学)	英語1B 英語2B 英語中級1B 英語中級2B 英語上級1A 認定英語1 認定英語2 認定英語3	兼任	講師	金井 彩香 (39) <平成28年4月> 博士(文学)	英語1B 英語2B 英語中級1B 英語中級2B 英語上級1A 認定英語1 認定英語2 認定英語3	兼任	講師	金井 彩香 (40) <平成28年4月> 博士(文学)	英語1B 英語2B 英語中級1B 英語中級2B 英語上級1A 認定英語1 認定英語2 認定英語3	兼任	講師	金井 彩香 (41) <平成28年4月> 博士(文学)	英語1B 英語2B 英語中級1B 英語中級2B 英語上級1A 認定英語1 認定英語2 認定英語3
				兼任	講師	金井 彩香 (42) <平成28年4月> 博士(文学)	英語1B 英語2B 英語中級1B 英語中級2B 英語上級1A 認定英語1 認定英語2 認定英語3	兼任	講師	金井 彩香 (42) <平成28年4月> 博士(文学)	英語1B 英語2B 英語中級1B 英語中級2B 英語上級1A 認定英語1 認定英語2 認定英語3	兼任	講師	山下 文 (35) <平成31年4月> 博士(文学)	キャリア形成A1 キャリア形成A2 キャリア形成B1 キャリア形成B2 言語行3-1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	合川 正幸 (43) <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	講師	合川 正幸 (44) <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	講師	合川 正幸 (45) <平成30年4月> 博士(理学)						
		データベース工学			データベース工学			データベース工学						
兼任	講師	有賀 啓之 (50) <平成30年9月> 学士(法学)	兼任	講師	有賀 啓之 (51) <平成30年9月> 学士(法学)	兼任	講師	有賀 啓之 (52) <平成30年9月> 学士(法学)	兼任	講師	有賀 啓之 (53) <平成30年9月> 学士(法学)	兼任	講師	有賀 啓之 (54) <平成30年9月> 学士(法学)
		1-ギ インターナシ			1-ギ インターナシ			1-ギ インターナシ						
兼任	講師	井上 貴翔 (35) <平成28年9月> 博士(文学)	兼任	講師	井上 貴翔 (36) <平成28年9月> 博士(文学)									
		文章技法1 文章技法2			文章技法1 文章技法2									
兼任	講師	井上 敬介 (38) <平成28年9月>												
		北海道の歴史												
兼任	講師	渡部 斉 (58) <平成28年9月> 理学修士	兼任	講師	渡部 斉 (59) <平成28年9月> 理学修士	兼任	講師	渡部 斉 (59) <平成28年9月> 理学修士	兼任	講師	渡部 斉 (61) <平成28年9月> 理学修士	兼任	講師	渡部 斉 (61) <平成28年9月> 理学修士
		北海道の歴史			北海道の歴史			北海道の歴史						
兼任	講師	岩本 一郎 (51) <平成28年4月> 法学博士	兼任	講師	岩本 一郎 (52) <平成28年4月> 法学博士	兼任	講師	岩本 一郎 (53) <平成28年4月> 法学博士	兼任	講師	岩本 一郎 (54) <平成28年4月> 法学博士	兼任	講師	岩本 一郎 (55) <平成28年4月> 法学博士
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法						
兼任	講師	浦田 政則 (68) <平成28年4月> 理学士	兼任	講師	浦田 政則 (69) <平成28年4月> 理学士	兼任	講師	浦田 政則 (70) <平成28年4月> 理学士	兼任	講師	浦田 政則 (71) <平成28年4月> 理学士	兼任	講師	浦田 政則 (72) <平成28年4月> 理学士
		数学基礎			数学基礎			数学基礎						
兼任	講師	大塚 晴之 (57) <平成30年4月>	兼任	講師	大塚 晴之 (58) <平成30年4月>	兼任	講師	大塚 晴之 (59) <平成30年4月>	兼任	講師	大塚 晴之 (60) <平成30年4月>	兼任	講師	大塚 晴之 (61) <平成30年4月>
		経営学			経営学			経営学						
兼任	講師	大塚 崇代 (62) <平成28年9月> 法学博士	兼任	講師	大塚 崇代 (63) <平成28年9月> 法学博士	兼任	講師	大塚 崇代 (64) <平成28年9月> 法学博士	兼任	講師	大塚 崇代 (65) <平成28年9月> 法学博士	兼任	講師	大塚 崇代 (66) <平成28年9月> 法学博士
		くらしと政治			くらしと政治			くらしと政治						
兼任	講師	岡部 成玄 (68) <平成29年4月> 理学博士	兼任	講師	岡部 成玄 (69) <平成29年4月> 理学博士	兼任	講師	岡部 成玄 (70) <平成29年4月> 理学博士	兼任	講師	岡部 成玄 (71) <平成29年4月> 理学博士	兼任	講師	岡部 成玄 (72) <平成29年4月> 理学博士
		コンピュータと言語処理 情報セキュリティ			コンピュータと言語処理 情報セキュリティ			コンピュータと言語処理 情報セキュリティ						
兼任	講師	亀井 伸照 (63) <平成28年4月> 学士(体育)	兼任	講師	亀井 伸照 (64) <平成28年4月> 学士(体育)	兼任	講師	亀井 伸照 (65) <平成28年4月> 学士(体育)	兼任	講師	亀井 伸照 (66) <平成28年4月> 学士(体育)	兼任	講師	亀井 伸照 (67) <平成28年4月> 学士(体育)
		スポーツ総合1 スポーツ総合2 健康科学			スポーツ総合1 スポーツ総合2 健康科学			スポーツ総合1 スポーツ総合2 健康科学						
兼任	講師	今野 靖政 (71) <平成29年4月> 学士(体育)	兼任	講師	今野 靖政 (72) <平成29年4月> 学士(体育)	兼任	講師	今野 靖政 (73) <平成29年4月> 学士(体育)	兼任	講師	今野 靖政 (74) <平成29年4月> 学士(体育)	兼任	講師	今野 靖政 (75) <平成29年4月> 学士(体育)
		スポーツ総合1 スポーツ総合2			スポーツ総合1 スポーツ総合2			スポーツ総合1 スポーツ総合2						
兼任	講師	白根 久 (76) <平成28年9月> 修士(教育学)	兼任	講師	白根 久 (77) <平成28年9月> 修士(教育学)	兼任	講師	白根 久 (78) <平成28年9月> 修士(教育学)	兼任	講師	白根 久 (79) <平成28年9月> 修士(教育学)	兼任	講師	白根 久 (80) <平成28年9月> 修士(教育学)
		人と社会			人と社会			人と社会						
兼任	講師	高野 真理子 (39) <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	講師	高野 真理子 (40) <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	講師	高野 真理子 (41) <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	講師	高野 真理子 (42) <平成29年4月> 博士(文学)	兼任	講師	高野 真理子 (43) <平成29年4月> 博士(文学)
		フランス語			フランス語			フランス語						
兼任	講師	高橋 晴人 (69) <平成29年4月> 法学修士	兼任	講師	高橋 晴人 (70) <平成29年4月> 法学修士	兼任	講師	高橋 晴人 (71) <平成29年4月> 法学修士	兼任	講師	高橋 晴人 (72) <平成29年4月> 法学修士	兼任	講師	高橋 晴人 (73) <平成29年4月> 法学修士
		くらしと法律			くらしと法律			くらしと法律						
兼任	講師	田代 早矢人 (48) <平成29年9月> 文学修士	兼任	講師	田代 早矢人 (49) <平成29年9月> 文学修士	兼任	講師	田代 早矢人 (50) <平成29年9月> 文学修士	兼任	講師	田代 早矢人 (51) <平成29年9月> 文学修士	兼任	講師	田代 早矢人 (52) <平成29年9月> 文学修士
		文章技法1 文章技法2			文章技法1 文章技法2			文章技法1 文章技法2						
兼任	講師	中嶋 輝明 (48) <平成28年9月> 博士(行動工学)	兼任	講師	中嶋 輝明 (49) <平成28年9月> 博士(行動工学)	兼任	講師	中嶋 輝明 (50) <平成28年9月> 博士(行動工学)	兼任	講師	中嶋 輝明 (51) <平成28年9月> 博士(行動工学)	兼任	講師	中嶋 輝明 (52) <平成28年9月> 博士(行動工学)
		心理学入門			心理学入門			心理学入門						
兼任	講師	中村 容子 (58) <平成29年4月>												
		英語中級1 D 英語中級2 D												
兼任	講師	安田 富久一 (63) <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師	安田 富久一 (64) <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師	安田 富久一 (65) <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師	安田 富久一 (66) <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師	安田 富久一 (67) <平成30年4月> 理学修士
		数学A 数学C												
兼任	講師	原田 雅之 (61) <平成28年4月>	兼任	講師	原田 雅之 (62) <平成28年4月>	兼任	講師	原田 雅之 (63) <平成28年4月>	兼任	講師	原田 雅之 (64) <平成28年4月>	兼任	講師	原田 雅之 (65) <平成28年4月>

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・坂井賢一准教授(兼任)の「生物学入門」について、教育効果を考慮しホバ形式に変更、当該教員を含む7名にて担当
※担当: 木村康美教授(兼任)、李黎明教授(兼任)、大越研人教授(兼任)、高田知哉准教授(兼任)、平井悠司講師(兼任)、下澤橋夫講師(兼任)を追加
- ・井上敬介講師(兼任)は、就任を辞退したために渡部齊講師(兼任)へ変更した。
- ・井上貴朗講師(兼任)は、就任を辞退したために寺山千紗都講師(兼任)へ変更した。(平成29年9月就任)
- ・林康弘助教は、任期満了により退職(就任辞退)したことにより、担当予定の「情報技術概論」については、配置済みの教授1名にて担当することとした。
- ・福田誠教授の担当予定であった「初歩の物理学」について、教育効果を考慮し担当教員を複数配置することとした。
※担当: 梅村信弘准教授(兼任)、原田雅之講師(兼任)
- ・林康弘助教は、任期満了により退職(就任辞退)したことにより、担当予定の「0プログラミング」については、配置済みの教授1名、講師1名にて担当することとした。
※担当: 小松川浩教授(専任)、深町賢一講師(専任)
- ・林康弘助教は、任期満了により退職(就任辞退)したことにより、担当予定の「Javaプログラミング」については、配置済みの教授1名にて担当することとした。
※担当: 小松川浩教授(専任)
- ・林康弘助教は、任期満了により退職(就任辞退)したことにより、担当予定の「情報処理プロジェクト」については、配置済みの教授1名、助教1名にて担当することとした。
※担当: 小松川浩教授(専任)、山川広人(助教)
- ・林康弘助教は、任期満了により退職(就任辞退)したことにより、所属学科を変更したことにより兼任へ変更した。それに伴い、当該教員が担当予定であった次の科目については、担当から除くこととした。いずれの科目も配置済みの複数教員により実施するため、支障はない。
※担当から除いた科目: ハードウェアシステム論、システムデザインプロジェクト、フォトニクスシステム
- ・小林大二准教授(専任)の担当予定科目であった「人間情報科学」については、教育効果を考慮し専任の教授へ担当者を変更した。
※担当: 曾我聡起教授(専任)
- ・山中明生教授(兼任)の担当予定科目であった「基礎フーリエ数学」については、教育効果を考慮し専任の教授へ担当者を変更した。
※担当: 山林由明教授(専任)
- ・中村容子講師(兼任)は、就任を辞退したため担当予定であった「英語中級1D」「英語中級2D」については、専任の准教授へ担当者を変更した。
※担当: 小川正浩准教授(専任)
- ・今井順一教授(専任)の担当予定科目であった「離散数学」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、別の専任教授1名へ担当者を変更した。
※担当: 村井哲也教授(専任)
- ・小松川浩教授(専任)の担当予定科目であった「情報処理システム論」については、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、別の教授1名へ担当者を変更した。
※担当: 村井哲也教授(専任)
- ・三澤明教授(専任)は、平成28年4月に新規採用し下記の科目を担当することとなった。
※担当科目: 電子回路実習、線形代数I、線形代数II
- ・山林由明教授(専任)が単独で担当予定であった「電子回路実習」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、専任の教授1名を追加した。
※担当(追加): 三澤明教授(専任)
- ・安田富久一教授(専任)の担当予定であった「離散数学」、「線形代数I」、「線形代数II」、「代数学概論」は新規採用の別の専任教員へ担当者を変更した。
※変更内容: 「離散数学」「代数学概論」は、村井哲也教授(専任)へ変更
「線形代数I」「線形代数II」は、三澤明教授(専任)へ変更
- ・村井哲也教授(専任)は、平成28年4月に採用したが、当該学科での担当科目はなかった。

【平成29年度】

- ・谷尾寛久教授(兼任)の担当予定科目であった「化学入門」及び「化学基礎」について、教育効果を考慮し、別の兼任教員へ変更した。
※担当: 高田知哉准教授(兼任)
- ・山川広人助教(専任)の担当予定であった「インフォーマティクス基礎」について、担当科目の見直しにより、配置済みの講師1名にて担当することとした。
- ・長谷川誠教授(専任)は、当該教員の専門分野等の見直しにより、所属学科を変更したことにより兼任へ変更した。それに伴い、当該教員が担当予定であった次の科目については、担当から除くこととした。いずれの科目も配置済みの複数教員により実施するため、支障はない。
※担当から除いた科目: ハードウェアシステム論、システムデザインプロジェクト、フォトニクスシステム
- ・小林大二准教授(専任)の担当予定科目であった「人間情報科学」については、教育効果を考慮し専任の教授へ担当者を変更した。
※担当: 曾我聡起教授(専任)
- ・山中明生教授(兼任)の担当予定科目であった「基礎フーリエ数学」については、教育効果を考慮し専任の教授へ担当者を変更した。
※担当: 山林由明教授(専任)
- ・中村容子講師(兼任)は、就任を辞退したため担当予定であった「英語中級1D」「英語中級2D」については、専任の准教授へ担当者を変更した。
※担当: 小川正浩准教授(専任)
- ・今井順一教授(専任)の担当予定科目であった「離散数学」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、別の専任教授1名へ担当者を変更した。
※担当: 村井哲也教授(専任)
- ・小松川浩教授(専任)の担当予定科目であった「情報処理システム論」については、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、別の教授1名へ担当者を変更した。
※担当: 村井哲也教授(専任)
- ・三澤明教授(専任)は、平成29年4月に新規採用し下記の科目を担当することとなった。
※担当科目: 電子回路実習、線形代数I、線形代数II
- ・山林由明教授(専任)が単独で担当予定であった「電子回路実習」について、担当者の見直し及び教育効果を考慮し、専任の教授1名を追加した。
※担当(追加): 三澤明教授(専任)
- ・安田富久一教授(専任)の担当予定であった「離散数学」、「線形代数I」、「線形代数II」、「代数学概論」は新規採用の別の専任教員へ担当者を変更した。
※変更内容: 「離散数学」「代数学概論」は、村井哲也教授(専任)へ変更
「線形代数I」「線形代数II」は、三澤明教授(専任)へ変更

【平成30年度】

- ・石田雪也講師(専任)が担当する「キャリア形成A1」について、キャリア形成の重要性に鑑み、担当者に教授1名を追加した。
※担当(追加): 吉本直人教授(追加)
- ・山川広人助教(専任)は、平成30年4月1日をもって講師へ昇格した。また、「Javaプログラミング」を担当する配置済みの教授とともに担当することとなった。
※講師への昇格に伴う科目担当者の配置変更科目: ソフトウェア工学概論、モバイルコンピューティング、データベース工学、webシステムプログラミング
ICTソリューションプロジェクト
- ・曾我聡起教授(専任)、村井哲也教授(専任)、三澤明教授(専任)の3名を「システムデザインプロジェクト」に担当者として追加した。
- ・深町賢一講師(専任)が担当する「情報セキュリティ」について、担当科目の見直しにより、兼任教員の単独配置へ変更。
※担当: 岡部 成玄講師(兼任)
- ・合川正幸講師(兼任)は、就任辞退のため担当予定であった「データベース工学」は別の専任教員へ担当者を変更。
※担当: 山川広人講師(専任)
- ・安田富久一教授(専任)は、平成30年3月をもって退職し、専任から兼任となった。また、同氏が担当予定であった「代数学I」については、別の専任教員へ変更。
※担当: 村井哲也教授(専任)
- ・当初、山林由明教授(専任)、吉田淳一教授(専任)、長谷川誠教授(専任)、深町賢一講師(専任)により担当予定であった「ハードウェアシステムプロジェクト」は担当科目の見直しにより、下記のとおり担当者を変更した。
※変更後の担当者: 山林由明教授(専任)、吉田淳一教授(専任)、三澤明教授(専任)
- ・当初、曾我聡起教授(専任)、今井順一教授(専任)、小林大二准教授(専任)、Randy L. Evans講師(専任)により担当予定であった「サービスプロジェクト」について、担当科目の見直し及び教育効果を考慮し、村井哲也教授(専任)及び石田雪也講師(専任)を担当者として追加した。
- ・山林由明教授(専任)が担当予定であった「センサネットワーク」については、別の専任教員へ変更した。
※変更後の担当者: 三澤明教授(専任)
- ・村井哲也教授(専任)及び三澤明教授(専任)は、平成30年度より輪講、卒業研究A、卒業研究Bを担当科目に追加した。
- ・下村政嗣教授(兼任)、Olaf Karthaus教授(兼任)は李黎明教授(兼任)に代わり「生物学入門」の一部内容を担当することとなった。

【令和元年度】

- ・山林由明教授(専任)は、平成31年度に新規開設した「千歳学」を新たに担当することとなった。
- ・石田雪也講師(専任)が准教授に昇格したことにより、石田准教授担当科目の次の科目について講師配置箇所を准教授に変更した。
石田准教授担当科目: 「情報学基礎演習」、「インフォーマティクス基礎」「キャリア形成A1」、「キャリア形成A2」、「キャリア形成B1」、「キャリア形成B2」、「システムデザインプロジェクト」、「インターンシップ」、「ICTソリューションプロジェクト」、「人間コミュニケーション論」、「情報と職業」、「サービスプロジェクト」
- ・吉田淳一教授(専任)が、平成31年3月をもって退職したことにより、専任から兼任へ変更した。同教員の担当科目は他の専任教授と複数での担当であり、専任から兼任へ変更しても支障はない。
- ・王教授(兼任)は、平成30年11月に逝去したことから、同教員が担当していた「中国語1」、「中国語2」、「中国語3」、「宗教と科学技術」は兼任講師として云 肖梅氏が担当することとなったので、支障はない。
- ・山下文講師(兼任)は、「キャリア形成A1」、「キャリア形成A2」、「キャリア形成B1」、「キャリア形成B2」を平成31年度に新たに担当することとなった。また、平成31年度入学者より日本語教育の重要性に鑑み新たに開設した「言語リテラシー」も担当することとなった。
- ・青木広准教授(兼任)の担当科目である「数値計算概論」は、担当者の見直しにより兼任講師の行木孝夫氏が担当することに変更した。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A.C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
5	2	3	2	12	6	3	3	0	12
(6)	(2)	(3)	(2)	(13)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
6	3	3	0	12	6	3	3	0	12
[1]	[1]	[]	[Δ2]	[]	[1]	[1]	[]	[Δ2]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	林 康弘	H28.3	必修	情報技術概論	①	H28.3 任期満了による退職のため (28)			
				必修	C7 プログラミング	①				
				必修	JAVA7 プログラミング	①				
				必修	情報処理プロジェクト	①				
				必修	ソフトウェア工学概論	①				
				選択	ICTソリューションプロジェクト	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
	選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
	自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{12} = 8.33 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	吉田 淳一	必修	システムデザインプロジェクト	①	H31.3 定年のため退職（元）	
			選択	フットワークシステム	①		
			選択	ハードウェアシステムプロジェクト	①		
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学では、入学生は学部で收容し、2年次に学科に移行している。
上記担当科目は全て配当年次が2年次であるため周知は行っていない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 情報システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 125単位 必修科目61単位、選択科目64単位</p> <p>② 学校法人千歳科学技術大学として運営</p>	<p>① 修了要件単位数 125単位 必修科目63単位、選択科目62単位 情報システム工学科専門科目に関する変更はなく 共通教育科目に地域の理解に資する科目として「 千歳学（1単位必修）」及び日本語の理解に資する 科目として「言語リテラシー1（1単位必修）」を 新規開設し、教育の充実を図った。</p> <p>② H31.4 公立大学法人化 大学名を公立千歳科学技術大学に名称変更</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 千歳科学技術大学FD委員会要綱に基づくFD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 原則として、8月を除く毎月開催している。（年間11回開催） 構成員 教員9名、事務職員2名</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業内容の改善に関する事、教育環境の改善に関する事、教員の研修実施に関する事</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートの実施（期末） ・ 授業改善に資する外部講師による講演の実施 ・ 教員相互の授業参観 ・ 他大学のFDに関する取り組み内容に関する報告会の開催（学外研修参加報告） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会にて、実施内容を企画・検討し、全教員に参加を促し実施している。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業公開（春学期26名、秋学期24名）、②外部講師講演（カリキュラム体系29名、シラバス作成25名）、③授業評価アンケート（72名）※担当授業のない助手1名を除く全教員（非常勤教員32名も含む） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 シラバスの組織的な点検・確認の継続実施や各教員による授業用資料作成の工夫を実施している。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 春学期、秋学期の7週～8週目に中間授業評価を行い、春学期末の7月及び秋学期末の12～1月に 期末授業評価アンケートを実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 アンケート結果は、集計後科目毎に学内掲示板にて一定期間掲示することにより、公表している。 また、集計結果を冊子化して図書館にて教員・学生等がいつでも閲覧可能な状態としている。 なお、各教員個人には、担当科目の集計結果について紙媒体でフィードバックしている。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>情報システム工学科では、高度なICT技術革新に対応可能な、かつユーザである人間社会の「すべてのシーン」で真に役立つものとするために、情報通信、情報処理、情報活用の3つの要素を学習することにより一層情報系の理論と技術に精通して、利用の許されたモノや個人からのデータを縦横に活用しつつも「穴のない」サービスやシステムを開発・運用できる人材の育成を目的としている。また、セキュリティまでカバーする形での情報技術のみならず、データの活用のための統計処理や人間関係の諸工学に精通した人材を社会に輩出することを主な目的としている。</p> <p>今年度は、情報システム工学科の新カリキュラムの専門教育科目が開講となる。</p> <p>それにあたり、学科教員によるFD活動、学科の学生の状況を毎月定例の学科会議内で積極的に行う予定である。また、各科目においてもグループワーク、反転学修といったアクティブラーニングを積極的に活用し、知識だけでなく、主体性や協働性を養うことで、上記目的の達成に努める。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成29年4月4日 公表 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、認定された。・2023年度に評価機関（日本高等教育評価機構【未確定】）の評価をうけるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）</p> <p>a ホームページへの公表予定の有無 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</p> <p>b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 2019年 6月 1日予定 ）</p> <p>b 公表無の場合の特段の理由 （ ）</p>
--

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

公立千歳科学技術大学 FD 委員会要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、公立千歳科学技術大学学則第3条及び公立千歳科学技術大学大学院学則第4条の規定に基づき設置されるFD委員会（以下、「委員会」という。）について、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 委員会は、大学及び大学院における教育改善、教員の能力開発等の推進を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するために次の業務を行う。

- (1) 授業内容の改善に関すること
- (2) 教育環境の改善に関すること
- (3) 教員の資質向上を図るための研修に関すること
- (4) その他委員会の目的達成のために必要なこと

(構成)

第4条 委員会は、大学教育に関する委員会と大学院教育に関する委員会より構成され、それぞれの委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 大学教育に関する委員会
 - ① 学部長
 - ② 学生支援・教育センター長
 - ③ 各学科から選出された教員（各学科原則2名）
 - ④ 学生支援課長
 - ⑤ その他学長が必要と認めた者
- (2) 大学院教育に関する委員会
 - ① 研究科長
 - ② 学生支援・教育センター長
 - ③ 研究科長より指名された大学院専任教員（若干名）
 - ④ 学生支援課長
 - ⑤ その他学長が必要と認めた者

2 上記の2つの委員を兼任することはそれを妨げない。

(委員長及び幹事)

第5条 委員会に委員長及び幹事を置く。

- 2 委員長は、前条に基づく構成員の中から学長が指名する。
- 3 幹事は、学生支援・教育センター長をもって充てる。

(運営)

第6条 委員会は、それぞれの委員長がそれぞれの委員会を招集し、議長となる。

2 委員長が事故等で不在の場合は、学長の指名により代理の委員長を置くことができる。

3 大学教育及び大学院教育に関する委員会は、必要に応じて相互に調整を図るものとする。また、双方の委員長が必要と認めた場合は、同時に開催することができる。

(委員の任期)

第7条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、任期途中で退任した場合の後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、学生支援課教務係において処理する。

(改廃)

第10条 この要綱の改廃は、FD委員会の審議を経て学長が行う。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、それぞれの委員長がそれぞれの委員会に諮ってこれを定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。